

鈴木ひとみ市政報告



鈴木ひとみ

ごあいさつ 高齢者を中心に新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んでいます。マスコミ等の報道によれば、感染が広がりつつあるデルタ株も、ワクチンの2回接種によりかなり防ぐことができるということです。長い自粛生活から抜け出し、以前の生活を取り戻すためにも、なるべく早く多くの方が接種を受けられることを願っています。

令和3年第2回定例会 一般通告質問より

海岸漂着物等の対策促進について

第4次総合計画後期基本計画の重点プランの第一番に海の魅力アッププランが挙げられています。海洋プラスチックの問題がクローズアップされ、海洋生物だけでなく、人体へ及ぼす影響も警告され始めています。海水浴客は減少したものの、サーフィン、サップ、ダイビングなど、幅広い分野のマリンスポーツを楽しむ人々が訪れています。また、新鮮な魚貝類は観光客を呼び込むための目玉です。海からの恩恵を受けているからこそ、海岸漂着物の問題にも積極的に取り組むべきです。環境省の「海岸漂着物等地域対策事業」など国の施策の活用も検討すべきです。

海岸漂着物は館山市だけでは解決できない問題であり、他の市町村、県、国へと広く呼び掛けていくことを求めます。



ひきこもりへの支援について

全国的に問題となっているひきこもりは、市内にも相当数の家庭が抱えていると推測できます。特に、親が高齢化した8050問題は深刻です。

家族だけで抱え込んでいるケースが多く、実態は把握されていません。相談しやすい環境作り、もっとオープンにして良いという雰囲気と、安心して気軽に相談できる窓口が必要です。

社会福祉協議会へ委託された包括的相談支援事業により、状況に合わせて各機関へつなげ、チームを作って解決策を探る仕組みを作っています。館山市内にある中核地域生活支援センター「ひだまり」では、制度の狭間や複合的な問題を抱える人の相談に乗っています。これらの制度をより多くの人たちに知らせることが大切だと考えます。

ひきこもりは繊細で長期にわたる事例も多く、高度なスキルを持った専門の支援員の育成も求められます。

安房消防神戸分遣所と西岬分署の統合について

安房地域市町村圏事務組合が消防の西岬分署と神戸分遣所の統合を打ち出しています。

神戸分遣所、西岬分署ともに老朽化が進み、建て替えの必要があります。また、西岬分署は津波の被害を受ける危険もあり、移転も必要です。けれども、もし統合すれば西岬から神戸・富崎までの広い範囲を一つの分署で管轄することになり、消防車1台、職員10人が削減されます。両地域をつなぐフラワーラインは津波や高波によって不通になる可能性も大きく、市道4040号線はがけ崩れを起こす危険性があります。富崎、西岬は漁村地

域で家が密集し、火災の際の類焼も心配です。

救急車の配備を長く望んできた神戸地区では、神戸分遣所の消防車が救急の初期対応、ドクターヘリが着陸する際の安全管理、放水などの作業を行っています。

高齢化が進む地域では、いざというときの自助共助が困難です。採算面での合理性ではなく、住民の安心安全をどう守っていくかという視点で、今後の消防のあり方は考えられるべきです。

